

一般財団法人大阪男女いきいき財団
令和6年度 事業報告

I 自主事業

事業収入：29,797 千円

前年度：29,524 千円

1 研修・学習・啓発事業

事業名・事業内容	事業数	実 績		前年度
(1) 自主講座・イベント等事業				
① クレオ大阪	171 事業	参加者数	12,915 人	11,788 人
② 四條畷市市民総合センター・公民館	男女共同参画にかかる展示啓発事業等			
(2) 女性の活躍推進事業 ※ 女性の未来ミーティング 2025 (5年度名称:大阪・関西 女性の未来創造会議)	1 事業	参加者数	30 人	68 人
(3) 法人対象事業の受託	29 件			
(4) 女性の起業支援 「クレオチャレンジカフェ」事業	1 事業	運営者	2 人	2 人
(5) 啓発事業				
① 女性に対する暴力根絶キャンペーン	「デートDV」防止ちらしの作成と配布			
② 児童虐待防止キャンペーン	ハートフルリボン（オレンジ&パープル）ピンバッジの販売、「のぼり」掲示等			
③ 財団顕彰事業				
④ 第2回いいね！#ジェンダー平等 フォトメッセージコンテスト	1 事業	応募件数	122 件	103 件

※女性チャレンジ支援基金事業

2 市民活動推進事業

事業名	事業内容
(1) 地域の関係団体・機関や企業等との連携・協働事業	第72回大阪市ひとり親家庭福祉大会 後援など
(2) 国連ウィメン日本協会大阪等への支援	①国連ウィメン日本協会大阪への支援 ②DV被害者支援基金「夕陽丘基金」活動の支援

3 情報の収集・創造・発信事業

(1) インターネットでの情報発信	①ホームページの運営 ②SNS (Instagram、X、Facebook)
(2) 「財団ニュース」等の発行	①財団ニュースの発行 ②館だより等の発行

Ⅱ 指定管理事業

事業収入：472,803 千円

前年度：471,757 千円

1 クレオ大阪 中央館・子育て館・西部館・南部館・東部館の管理運営事業

○指定管理期間

中央館・子育て館・西部館・南部館・東部館：令和2年4月1日～令和7年3月31日

(1) 研修・学習・啓発事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① 男女共同参画セミナー事業	事業数	191	172
	参加者数	8,102 人	7,548 人
② 女性の起業支援事業 「チャレンジスタジオ」利用人数		146 人	53 人
③ インターンシップ・職場体験事業	受入者数	150 人	125 人
④ 一時保育関連事業	保育室 利用者数	13,356 人	12,592 人

(2) 相談事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① 女性の悩み相談	件数	12,125 件	12,476 件
② 男性の悩み相談	件数	338 件	328 件
③ 配偶者暴力相談支援センター相談	件数	993 件	1,044 件
④ 女性チャレンジ応援拠点	件数	1,209 件	1,028 件
⑤ 女の子のためのクレオ保健室	件数	107 件	91 件
⑥ 女性のためのライフプラン相談	件数	49 件	37 件

(3) 市民活動推進事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① グループ・個人等の活動・交流			
・日本語教室	利用者数	7,188	6,677 人
② 地域の関係団体等との連携・協働事業の実施	参加者数	7,530 人	6,304 人
③ 男女共同参画センター等とのネットワーク	参加都市数	15 都市	16 都市

(4) 情報の収集・創造・発信事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① クレオ大阪ホームページの運営	総アクセス数	60.0 万件	60.1 万件
② 情報・図書コーナーの運営	利用者数	21,528 人	19,026 人
③ 情報誌「クレオ」の発行	発行部数	48,000 部	60,000 部

(5) 男女共同参画に関する市民意識

目 的	市民の男女共同参画に関する意識や実態を把握することにより、今後の男女共同参画施策の参考とする。特に、令和8年度からの第4次男女共同参画基本計画の策定にむけて、項目や指標の参考とすることを目的とする。
調 査 手 法	郵送による配布、郵送・オンラインによる回収（郵送による督促状1回）
調査対象者	大阪市内在住の18歳以上の男女4,000人（外国籍住民を含む） 男女各2,000人を各区の住民基本台帳から層化無作為抽出
調 査 期 間	8月16日～9月20日
調 査 項 目	① 男女の平等、家庭や結婚生活などについて ② ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）・地域活動について ③ 女性の活躍推進について ④ 配偶者・パートナー間の暴力について ⑤ 男女共同参画に関連した制度や施策などについて ⑥ 自由回答意見
有効回答数	937（23.6%）
調 査 結 果	【固定的役割分担意識】 「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」という考え方（性別役割分担意識）について、否定的（「どちらかといえば反対」＋「反対」）な回答が男性61.0%、女性70.0%で、肯定的（「どちらかといえば賛成」＋「賛成」）な回答が男性30.0%、女性20.7%であった。過去調査と比較しても、否定的な回答の者の割合は、増加傾向にある。 【男女の地位の平等感】 男性優遇（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と回答した人の割合が最も高いのは、「政治の場」（79.0%）であり、続いて「社会全体」（68.2%）、「職場で」（60.4%）であった。「学校教育の場」については平等と回答した者が多い（46.0%）。 【女性活躍】 地域や就業の場で活躍している女性が増えたかについて聞いたところ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は地域では41.8%、就業の場では59.9%だった。 地域や就業の場でリーダー的な役割を担う女性が増えたかについては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は地域では32.8%、就業の場では45.2%だった。「活躍している女性が増えた」とする回答と比べ、それぞれ10ポイントほど低くなっている。 【男女間における暴力について】 「なぐる・ける」、「自分もしくは自分の家族に危害を加えると言って脅す」については9割が「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した。一方で「何を言っても無視し続ける」、「友達や身内とのメールのやりとりや、SNSなどをチェックする。行動やつきあいを制限する」、「自由にお金を使わせない、生活費を渡さない」について「どんな場合でも暴力にあたると思う」とする人は6割程度にとどまる。

(6) 子育て支援事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① 子育て支援に関する情報の収集、提供	おおさか子育てネット アクセス数	41.4万件	24.2万件
② 子育て支援に関する講座等	のべ受講者数	4,820人	4,321人
③ ファミリーサポートセンター本部機能 の運営	24支部への指導・助言		
④ 子育て相談	件数	4,922件	4,942件

(7) 施設の管理運営事業

【年間稼働率】(%)

	6 年度	5 年度
中央館	65.4	65.6
西部館	60.7	56.5
南部館	53.1	51.4
東部館	57.9	58.1

※控室、ギャラリーを除く

【年間利用者数】(人)

	6 年度	5 年度
中央館	368,976	401,091
子育て館	32,066	29,946
西部館	49,335	42,787
南部館	104,882	122,262
東部館	118,667	132,225

※控室、ギャラリーを含む

2 四條畷市市民総合センター・公民館の管理運営事業

	6 年度	5 年度
市民総合センター稼働率 (%)	59.8	50.4
利用者数 (人)	32,664	32,585

Ⅲ 受託事業

事業収入：23,306 千円

前年度：26,958 千円

1 大阪市地域女性団体協議会事務局業務

事業収入：1,011 千円 前年度：1,546 千円

(大阪市地域女性団体協議会)

内 容	① 事業運営に関する事務、ホームページの運営 ② 総会（書面決議）、女性大会の開催運営事務(各年 1 回) ③ 理事会(5 回)、役員会(7 回)の開催運営事務 ほか
-----	---

2 大阪市男女共同参画普及啓発事業

事業収入：3,873 千円 前年度：3,917 千円

(大阪市民政局)

事業内容	(1)各区での啓発 (2)全国的に実施される取組期間における啓発の企画・実施 ①「男女共同参画週間」の期間における啓発 ②「女性に対する暴力をなくす運動」の期間における啓発 (3)市民の意識を反映した啓発物の作成 ①「啓発用ポスター」の作成 ②「啓発動画」の作成 ③「啓発物」の作成
目標数値 に対する 達成結果	(1)ア. SNSを活用した情報発信への ①リーチ数:25,600 回(目標数値のべ 10,000 件以上) ②リアクション数:1,270 件(目標数値のべ 1,000 件以上) イ. 防災ミニ講座参加者アンケート 「地域防災活動に女性の参画が必要だと思う」と回答した人の 割合:93%(目標数値 70%以上) ウ. 啓発物に関するアンケート 「啓発物を見て、男女共同参画は自分にも関係のある事柄だと、 より感じる事ができた」と回答した人の割合:81%(目標 数値 70%以上) (2)ア. 街頭啓発での啓発物品の配布数:1,285 個(目標数値のべ 500 個) イ. 啓発物に関するアンケート 「啓発物を見て、男女共同参画は自分にも関係のある事柄だと、 より感じる事ができた」と回答した人の割合:81%(目標 数値 70%以上) (3)ア. 作成に際して、市民ニーズやアイデアを市民から聴取するアン ケートの回答者数:489 人(目標数値 200 人) イ. 啓発物に関するアンケート 「啓発物を見て、男女共同参画は自分にも関係のある事柄だと、 より感じる事ができた」と回答した人の割合:81%(目標 数値 70%以上)

3 ボランティア論【実習】(大阪経済大学)

事業収入：100 千円 前年度：100 千円

内 容	大阪経済大学のボランティア論の実習として、指定管理施設(クレオ大阪 子育て館・クレオ大阪東)で2日間の指導を行った。 履修学生：10 人
-----	--

4 大阪市女性のつながりサポート事業（大阪市民局）事業収入：18,241 千円 前年度：18,396 千円

内 容	(1) SNSを活用した相談事業 「大阪市つながりサポートLINE相談」 LINEアカウント友だち登録者数 2,695 人 相談件数 1,781 件 (2) 女性用品の提供 3,666 パック (区役所納品、クレオ大阪及びアウトリーチ先での配付) (3) 専門相談業務 弁護士による法律相談 21 件 産婦人科医によるからだの相談 18 件 ファイナンシャルプランナーによるマネー相談 11 件 社会保険労務士による労働相談 10 件
-----	--

5 休眠預金等活用事業「女性のエンパワメントで高める地域の防災リーダー育成事業助成プログラム」（公益財団法人地域創造基金さなぶり）

事業収入：12,577 千円（3 か年）：28,025 千円

（当初収入：9,423 千円、追加収入：3,154 千円）

内 容	(1) 女性リーダー育成プログラム令和 6 年度の実施 (2) 被災地への現地視察 (3) 地域防災活動の好事例調査 追加申請事業 ア. 女性防災リーダーが拓く未来に関するヒアリング調査 2024 年 11 月～2025 年 2 月 イ. 「ジャパン女性防災リーダーサミット 2025」の実施 日程：2025 年 1 月 12 日～13 日 会場：HANEDA IMOVATION CITY(東京都大田区) ※「防災のカギは女性の参画」映画上映・シンポジウム 2 月 16 日(日)13:00～17:15 (クレオ大阪中央 男女共同参画セミナー 共催)
-----	--